

こっこめ通信 06 2026

「賑わった5月」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

5月中旬から、FDA（フジドリームエアラインズ）のチャーター便が、小牧、高松、富山、仙台、花巻、岡山、神戸の地方空港より一日おきにやって来ました（残念ながら松本空港からは強風のため欠航）。ビジターセンターへも旅行会社の観光バスが来館しています。ゴールデンウィークもあったため、5月としては30年ぶりに5,000人を超える来館者数となっています。FDAのチャーター便は、11月にも企画されようなので、またいろいろな地域の方に来ていただけると嬉しいです。

さて、今回は「ハーバリウムスタディ」、「2026年ゴールデンウィークの様子」、「ゆるり自然観察会『新緑を楽しむ』」についてのお話です。

ハーバリウムスタディ

「ハーバリウムスタディ」とは東京都立大学 牧野標本館が主導する、専門家や市民と協働し 東京の野生生物目録策定に向けて生物情報の収集蓄積等を行う「東京いきもの調査団」の取り組みのひとつです。八丈島では、ビジターセンタースタッフ3名と8名の島民の方がこの取り組みに参加しています。

3月17日の午後、東京都立大学 牧野標本館の加藤英寿先生にお越しいただき、BiomeSurveyアプリの使い方を教えて頂いたあと、フィールドに出てアプリに記録し植物採集を行い、採集した植物を使ってプレス乾燥、標本ラベルの書き方を教えていただく予定でした。が、当日は雨であいにくのお天気となってしまった為、加藤先生が午前中にあらかじめ採集した植物を使ってプレス乾燥の仕方を教えていただきました。

その後、春休みとなってしまうなかなか標本作りができなかったのですが、春休みが終わった4月9日、ビジターセンター職員2名で植物採集を行い、10日にプレス標本、標本ラベルの作成を行いました。数日間プレス乾燥をして、標本を取り出してみると、スミレやヒナギキョウ、その他の植物たちは綺麗な色で乾燥していてまるで野に咲いていたそのままでした。（ちょっと鼻屑目に見てしまった？自画自賛？）

5月14日には、参加されている島民の方3名が植物採集してきたものをプレス乾燥、標本ラベルの作成を行い、5月20日に標本を取り出し、新たに採集してきたものをプレス乾燥、標本ラベルの作成、5月28日標本取り出しを行いました。4月に行ったものと同様、とても綺麗に仕上がっていました。

これからも八丈島という特別な環境で生育する生き物たちの記録作りに、みんなでワイワイガヤガヤと楽しみながら参加していきたいと思っています。（M.K.）



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

2026年ゴールデンウィークの様子

今年のゴールデンウィークも八丈ビジターセンターでは、自然や文化を楽しんでいただける様々な特別行事を開催しました。今年は低気圧や前線の影響で天候の不安定な日が多く、定期船は5月1日・2日・4日に欠航、飛行機も1日と4日に一部の便が欠航するなど、来島そのものが難しい場面もありました。それでも多くの方に、ご来館・ご参加いただき、多くの行事を実施することができました。館内には観光客だけでなく島内の方の来館も多く、天候に左右されながらも、例年以上に賑わいを感じる連休となりました。

特別行事は4月29日の「春の八丈島ハイキング」からスタートしました。13名が参加し、春の植物を観察しながら八丈富士の登山道を歩きました。当日は強風と濃霧の影響により、残念ながらお鉢巡りは中止となりましたが、安全を最優先に判断し、火口へ降りて浅間神社を参拝しました。悪天候の中だからこそ、霧に包まれた幻想的な森や、湿った環境で鮮やかさを増したコケ類・地衣類など、普段あまり意識しない自然の姿を観察することができました。参加者からは「こういう八丈富士も印象的だった」という声も聞かれ、厳しい自然条件の中で歩く体験そのものが、深く記憶に残る行事となったようです。



5月2日から6日にかけて（4日は雨天中止）は、毎年人気の「バードウォッチング入門」を開催しました。期間中は計16名が参加し、双眼鏡の使い方や野鳥観察のコツを学びながら、八丈島ならではの鳥たち（アマツバメやヒヨドリ、シジュウカラ、シメ、コジュケイなど）の姿や声を楽しみました。

同じく「特別ガイドウォーク」には、3日間で計12名が参加しました。普段午前中に行っているガイドウォークを午後にスライドさせた形で実施し、植物・地形・島の歴史などをテーマに、公園内をゆっくり歩きながら、普段は見過ごしてしまうような風景の中にも、多くの発見があることを紹介しました。天候不良等で参加希望者がいない日もありましたが、参加された方にとっては、風の強さや深い霧など島らしい自然環境も感じられ、八丈島の自然の奥深さを体感されていたようです。また、「バードウォッチング入門」と両方に参加された方もおり、複数の行事を通じて八丈島をより深く楽しんでいただけたことも印象的でした。

そして、期間中もっとも多くの参加者で賑わったのが「体験八丈太鼓」です。合計121名が参加し、子どもから大人まで多くの方が八丈太鼓の力強い音とリズムを楽しみました。初めて太鼓に触れる観光客の方も多く、会場には笑顔と迫力ある音が響いていました。

今年のゴールデンウィークは、交通機関の欠航や天候不良に悩まされながらも、多くの来館者に支えられ、無事に行事を実施することができました。これまで「八丈島に来るならゴールデンウィーク頃が一番良い季節」と案内することも多かったのですが、近年は天候不良や欠航が続く年もあり、自然相手の難しさを改めて感じています。それでも、その時々で表情を変える自然こそ、八丈島らしい魅力なのかもしれません。（R.T.）



ゆるり自然観察会「新緑を楽しむ」

ゆるり自然観察会、第2回目の5月は「新緑を楽しむ」がテーマでした。新緑って、どんな緑色なのか？
いろいろな木々の新葉の緑を集め、『色の手帖』という本の中から同じような色を探しました。ビジターに戻ってからは、採取した葉を緑の濃淡で並べ、比べてみました(写真下)。

ゴールデンウィーク後ということもあり、参加者は1名と寂しかったですが、逆にゆっくりのんびり、ゆるりと観察ができました。ビジターセンター周辺からガジュマル池まで歩き、20種22枚の新葉を観察・採取しています。

葉っぱを探しながら「イヌビワの若い葉は触ると他の葉よりもザラザラとしている」「ガクアジサイの新葉は葉の先から緑が濃く、葉柄までグラデーションになっている」「ホルトノキは若いときも葉が少し赤味があった」など、観察していろいろな気づきもありました。

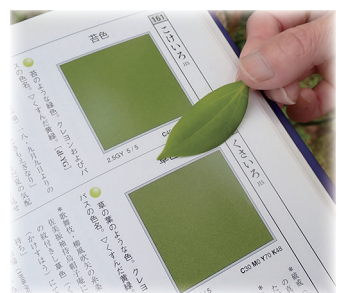
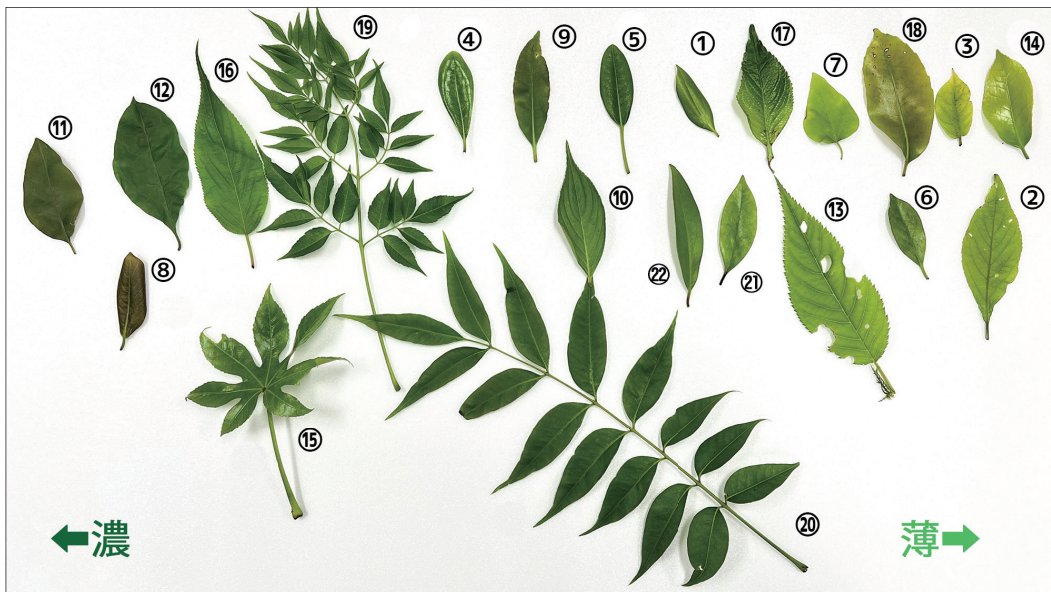
また、葉を観察することで、ヒメユズリハの新芽を食べるクロホウジャク、ツルグミの葉を食べるアサケンモンなど、普段、気がつかなかった幼虫も見つかりました。

6月は「シダとコケ」がテーマになっています。(H.T)

園内で採取した葉の一覧

種名	『色の手帖』から選んだ色
1 ヤブニッケイ	こけいろ(苔色)【161】
2 ムラサキシキブ	まっちゃいろ(抹茶色)【155】
3 イヌビワ(新芽はザラザラ)	わかくさいろ(若草色)【156】
4 トベラ	こけいろ(苔色)【161】
5 ヒメユズリハ	こけいろ(苔色)【161】
6 モチノキ	くさいろ(草色)【162】
7 アオツツラフジ	なえいろ(苗色)【158】
8 タブノキ(赤茶)	からちゃ(唐茶)【87】
9 ホルトノキ	うぐいすいろ(鶯色)【151】
10 ニオイウツギ	エルムグリーン【403】
11 ブーゲンビリア(赤)	ねぎしいろ(根岸色)【152】
12 ブーゲンビリア(緑)	モスグリーン【408】
13 オオシマザクラ	リーフグリーン【401】
14 ヤブツバキ	わかくさいろ(若草色)【156】
15 ヤツデ	くさいろ(草色)【162】
16 ハチジョウキブシ	まつばいろ(松葉色)【168】
17 ガクアジサイ(根元側の色で判別)	わかくさいろ(若草色)【156】
18 スダジイ	やなぎちゃいろ(柳茶色)【150】
19 センダン	こけいろ(苔色)【161】
20 ハゼノキ	くさいろ(草色)【162】
21 モチノキ(葉柄がムラサキ)	こけいろ(苔色)【161】
22 タイミンタチバナ	こけいろ(苔色)【161】
ツルグミ	葉に毛があったため色分けせず

『色の手帖』小学館 ISBN：978-4095040028



八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。
今回は、ゆるり自然観察会で見つけた「アサケンモン」にスポットを当ててみたいと思います。



アサケンモン

Plataplecta pruinosa

ヤガ科ケンモンヤガ亜科アサケンモン属。日本では関東地方以西でみられ、伊豆諸島では三宅島・御蔵島・八丈島で記録があります。

幼虫はツルグミで見られ、ゆるり自然観察会時にも数匹の幼虫が確認できました。植物公園では10月にも幼虫を確認しているので、八丈島では、年2化と思われます。毒が無いと言われていますが、毛により反応が出るかもしれないです。(H.T)

2026 06

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	芒種 6 ガイドウォーク
	04:30 11:31 18:44 23:48	05:02 12:04 19:17	05:33 12:38 19:51	06:06 13:12 20:25	06:40 13:48 21:02	07:21 14:26 21:41
7 ガイドウォーク	☾ 8	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
08:14 15:10 22:25	09:29 16:04 23:12	11:13 17:12	00:00 06:51 13:03 18:29	00:48 07:47 14:32 19:44	01:34 08:38 15:43 20:49	02:19 09:26 16:44 21:46
14 ガイドウォーク ゆるり自然観察会 「シダとコケ」	● 15	16	17	18	19	20 ガイドウォーク
03:04 10:14 17:38 22:37	03:50 11:02 18:29 23:24	04:36 11:50 19:17	05:24 12:36 20:02	06:13 13:22 20:42	07:04 14:05 21:18	08:00 15:06 21:50
夏至 21 ガイドウォーク	☾ 22	23	24	25	26	27 ガイドウォーク 八文学講座 「着生植物を観察しよう！」
09:05 16:01 23:20	10:29 17:10 24:52	12:18 17:03 23:30	14:06 18:16	00:19 08:02 15:25 19:38	01:14 08:48 16:17 20:51	02:07 09:30 16:56 21:47
28 ガイドウォーク	29	○ 30				この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります
02:55 10:09 17:31 22:30	03:37 10:45 18:03 23:06	04:15 11:20 18:33 23:38				

イベントプログラム

ゆるり自然観察会
「シダとコケ」

毎月テーマを変えて、ゆったりと公園内の自然を親しむ自然観察会。気軽にご参加ください！
6 / 14 (日) (13:30 ~ 約1時間半)
小学生以上 (小学生は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八文学講座
「着生植物を観察しよう！」

毎月行っている八文学講座。公園内のヤシ類に着生している植物を探して観察します。
6 / 27 (土) (13:30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日祝日及び休日、(10:30 ~ 約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00 ~ 八丈・海・生きものたち

11:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15:00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16:00 ~ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2026.6.1 第301号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

実は2010年11月にも加藤英寿さんに植物標本の意義と植物標本作りの指導を受けています。この様子は、「こっこめ通信2010年12月号」で紹介しています。その後、標本作りに着手していなかったのですが、今回こそは島の標本を増やしていきたいですね。(H.T.)